

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉県蘇我スポーツ公園第2多目的グラウンド(南)
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	<ul style="list-style-type: none"> ・市におけるスポーツ、レクリエーションの振興を図り、市民の健康、体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。 ・蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、蘇我スポーツ公園内の他施設とともに災害時の防災拠点となる施設を目指す。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の誰もが、日常的に利用でき、それぞれの目的に応じたスポーツを楽しめる場を提供する。 ・日頃、スポーツ活動の機会に恵まれない市民やスポーツ初心者、レベルアップを志向する市民に対して、各種スポーツ教室等の場を提供する。 ・地域や区のスポーツ大会やイベントの開催場所を提供する。 ・本施設は警察・消防の待機・駐屯スペースを予定していることから、その機能を発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築すること。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、利用者サービスの向上及び管理経費の削減の効果を見込んでいます。
指定管理者名	MMT 共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	(代表) 株式会社千葉マリスタジアム 日本メックス株式会社 東洋グリーン株式会社
指定期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日(3年)
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

2 成果指標等の推移

(1) 利用者数31,000人(成果指標1)

	29年度	30年度		平均
実績値	38,421	38,616		38,519
数値目標※	31,000	31,000		
達成率	123.9%	124.6%		124.3%

(2) 稼働率40%以上(成果指標2)

	29年度	30年度		平均
実績値	22.2%	29.8%		26.0%
数値目標※	40%	40%		
達成率	55.5%	74.5%		65.0%

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	29年度	30年度		合計

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			29年度	30年度			合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	13,596	13,553			27,149
			計画	13,596	13,553			27,149
		利用料金	実績	1,612	1,496			3,108
			計画	2,090	1,422			3,512
		その他	実績	0	0			0
			計画	0	0			0
	合計	実績	15,208	15,049	0	0	30,257	
		計画	15,686	14,975	0	0	30,661	
	支出	実績	16,076	17,214			33,290	
		計画	15,686	14,975			30,661	
収支	実績	△ 868	△ 2,165	0	0	△ 3,033		
自主事業	収入	実績	0	0			0	
		計画	1,000	1,000			2,000	
	支出	実績	0	0			0	
		計画	646	646			1,292	
収支	実績	0	0	0	0	0		
総収入		実績	15,208	15,049	0	0	30,257	
総支出		実績	16,076	17,214	0	0	33,290	
総収支		実績	△ 868	△ 2,165	0	0	△ 3,033	
利益の還元額		実績	0	0				
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	音楽フェスの誘致により、利用者数は成果指標を達成したが、稼働率が成果指標を大きく下回った。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	提案通りの指定管理委託料
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	B	適切な人員配置、専門職員による業務運営など、スポーツ施設と連携した組織体制作りをおこなった。
(2) 施設の維持管理業務	B	指定管理1年目に大きな課題となった砂埃対策として行ったグラウンド天然芝化において、引き渡し後の維持管理に尽力し良好なグラウンド状態を維持した。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	音楽フェスやソフトボール大会の誘致など、一定の成果をあげたが、稼働率が成果指標を大きく下回った。
(2) 利用者サービスの充実	C	
(3) 施設における事業の実施	C	
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

公園内の他スポーツ施設と一体管理を行い、音楽フェスの誘致など施設の活用に尽力し、効果を発揮した。一方で、イベント等の利用により成果指標に掲げる利用者数は達成したものの、スポーツ施設としての稼働率は指標を大きく下回る結果となった。指定管理1年目に大きな課題となった砂埃の発生については、2年目に天然芝張によって解消した。引き渡し後の維持管理に尽力し、砂埃の抑制のみならず、良好なグラウンド環境の維持に努め、稼働率も増加傾向が見られている。

これらのことから、当初見込んでいた効果は達成できたと検証される。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

- ・市内に類似施設がない新規施設の場合、成果指標とする利用者数や稼働率の設定が難しい。本施設についても、指定管理者の提案による音楽フェスの誘致の効果で、利用者数は指標を大きく上回ったものの、稼働率は大きく下回った。
- ・千葉市蘇我スポーツ公園は、現在も整備中であり、新たに供用された施設には指定管理者制度を導入し、現指定管理者に非公募にて管理させている。しかし、令和元年度に供用開始する円形野球場では、整備完了と供用開始時期のズレが生じたことにより、4月から指定管理者制度を導入することができなかった。今後の整備計画の中でも、同様の理由で整備完了直後に指定管理者制度が導入できない施設が見込まれる。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見

(ア) 現指定管理者のこれまでの管理を振り返り、良かった点、悪かった点、次年度以降に実施すること、指定管理者が変わった場合でも引き継ぐべきことなどを整理して、より良い管理につなげていただきたい。

(イ) イベントでの利用と通常の利用、プロスポーツの興業と一般の利用などを分けて成果指標を設定するなど、より良い管理となるよう改めて検討されたい。

(ウ) スポーツ施設とその他の園地等では、管理者が指定管理者と市で異なっている。利用者の利便性を向上させるため、指定管理区域の見直しを含め検討されたい。

(エ) 現在ある施設だけでなく、次期指定管理期間において加わる新たな施設にまで目を配った公募条件となるよう検討されたい。